

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年8月6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871100202		
法人名	有限会社 二葉		
事業所名	グループホーム めぐる	ユニット名	
所在地	〒300-2511 茨城県常総市花島町29-4		
自己評価作成日	平成24年1月6日	評価結果 市町村受理日	平成24年8月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0871100202&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年3月15日	評価確定日	平成24年7月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

定員6名と少人数なホームなので利用者一人ひとりの要望を聞き入れやすく、管理者がホームに住み込んでおり家族のように共に暮らしています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は田んぼや林が広がる閑静な場所に建ち、仰々しい看板は立てずに家庭的な玄関を設けている。 代表者と家族の住まいが事業所と同じ建物の中にあり、夜間は代表者を含めると2名体制になっている。 代表者は家族の支援が困難な高齢者が入れる施設や障害年金の範囲内で入れる安価な施設をつくりたいとの思いから、平成15年に現在のグループホームを開設した。 利用者は入居から5年から8年経た今でも介護度が入居時とあまり変わらず、退去者もない。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループホームめぐるとしての独自の理念があり全職員日々話し合い共有している	管理者や職員は地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成するとともに、理念の実現に向けてミーティングなどで話し合い、共有して実践に努めている。 特に利用者自身の能力を最大限に活かした生活や、自分の家に居るような安らげる家庭的な環境を大切にして支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩などで近所の人たちと交流している (季節によって、花、梅の実、みょうがなどをいただいたりしている)	利用者や職員は日々の散歩や買い物の際に近隣住民と挨拶を交わし地域の一員として生活している。 管理者や職員は地域で行われる子ども神輿祭りの見物を支援し、利用者が地域での生活を楽しめるように努めている。 職員は近隣の一人暮らしの高齢者に声をかけたり相談を受けるなど、交流しながら見守っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	一人暮らしの高齢者宅への見回り、生活状況により声かけ等を行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	近所の人や利用者家族に同席してもらい取り組み状況を報告している	運営推進会議は2ヶ月に1回利用者や市職員、地区長の参加を得て開催している。 会議では利用者の生活の様子や運営状況の報告などを行っている。 市職員に事業所を理解してもらう目的で、市職員による利用者への直接の聞き取りを毎回順番でもらっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村内の他のグループホームとの連絡会を開催し、市町村職員に出席してもらい、話し合いの場を設けている	年2回から3回開催されるグループホーム連絡会に参加し、市内の事業所や市職員と意見交換をしたり、空き情報を伝えている。 運営推進会議やグループホーム連絡会を活かし、市との協力関係を築くよう努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除マニュアルを作成し、研修等身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者はミーティングや日常のケアの場面を通して職員に身体拘束の内容とその弊害を伝え、日常生活のケアにおいても身体拘束をしない取組みを徹底させている。 玄関の入り口には身体拘束の弊害に関するポスターを掲示している。 玄関は利用者が自由に出入りができるよう施錠をしていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内にて虐待防止研修を行い、防止に努めている			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	近隣の事業所などと勉強会を行っている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明、理解、納得を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が不満などないか毎朝管理者が話を聞き、毎月家族等に生活の状況等を報告し、意見要望等を聞いている。	来訪できない家族等が多いので、管理者は電話等で家族等の意向を積極的に聴き、運営に反映するよう努めている。 重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するとともに、事業所の玄関に掲示したり、意見箱を玄関に設置している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝のミーティング時等意見や提案を聞く機会を設けている	管理者は職員が何でも言えるような関係づくりに努め、勤務体制の希望やケアについての疑問点などの相談を受けているほか、働きやすい職場の環境づくりに努めている。 職員から「口腔ケアの準備時間変更」の提案を受け早急に取り組むなど、管理者は職員から出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の子育て支援などに配慮し、職場環境の整備に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修及び勉強会等を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣事業所と懇談会及び勉強会を開催している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所後毎日管理者が朝、夕、話を聞き安心して生活できるよう支援している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	必要に応じて家族と連絡を取り話し合っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	対応に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者が家族のように親しみを持って生活していけるよう心がけている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	基本的に月1回訪問してもらい家族と話し合っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が行きたい場所及び会いたい人等がいれば出かけて支援している	管理者や職員は遠方に住んでいる利用者の友人や親戚との電話や手紙のやり取りを支援し、利用者がこれまで大切にしてきた人との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関係が継続していけるよう努力している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	少人数のホームなので一人ひとりの希望や意向の把握に努めやすく、出来る限り本人本位で生活しています	管理者や職員は入居前に利用者や家族等からこれまでの生活歴や思い、意向の聞き取りをするほか、入居後は利用者との会話や表情、しぐさなどを観察して一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	総合的に把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、職員の意見を聞き作成している	介護計画は利用者や家族等の意見を聞き6ヶ月毎に見直すほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、利用者や家族等の確認を得ている。 月1回モニタリングを行い実践状態や達成状態をチェックしており、現状に即した援助内容になっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録し見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟に支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察、消防などの他の機関と協力しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	決まったかかりつけ医ではなく、本人、家族の希望するかかりつけ医に事業所との関係を築きながら受診支援している	利用者の殆どが専門医の受診が必要なため、入居前からのかかりつけ医に定期的に受診ができるよう支援をしている。受診は管理者や職員が無料で病院に同行している。家族等への受診結果報告は電話や毎月の請求時に手紙に書き報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	相談し日常の健康管理を支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と相談に努め連携している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終身でない旨の説明を入居時行い入居していただいている。重度化した場合でもその時点での本人の状況を医師、家族と相談しホームで生活していただく	看取りは行わない方針であることを契約書に明記するとともに契約時に利用者や家族等に説明し、納得したうえで入居してもらっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生予防・再発防止及び緊急時の対応に関する研修を行い、実践力を身につけている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルに従い、消防職員、近隣住民参加の上で避難訓練を行っている	年2回消防署の指導のもと避難訓練を実施し、避難誘導や初期消火、非常通報連絡訓練を行っている。 避難訓練後に反省会を行い、大きな声で避難を呼びかけたが一部の利用者が「自分の名前が呼ばれなかった」と言って部屋から出てこなかったなどの反省点や課題を話し合っているが、次回の訓練に活かせるように記録に残すまでには至っていない。 災害に備え米や缶詰、冷凍食品、飲料水を備蓄している。	避難訓練の反省点や課題を記録に残し、次回の訓練に活かすことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重しプライバシーの確保に努めている	管理者や職員は温かい敬意のこもった言葉遣いで対応し、一人ひとりの尊厳を大切にしたい支援をしている。 契約書に個人情報の利用目的や取り扱いを明記し、利用者や家族等に十分説明のうえ書面で確認を得ている。 個人情報の書類は鍵のかかる事務室に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の支援を大事にしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	床屋や美容院等本人の希望する髪形など配慮している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜むき、皿洗い、盛り付けなど一人ひとり興味を持ったことなどを手伝ってもらっている	利用者はそれぞれの能力を活かしながら、食事の準備や後片付けなどを職員と一緒にやっている。 食事は栄養やカロリーのバランスが良いことを優先し、専門の栄養士が献立を立てる宅配サービスを利用している。 1週間に1回は利用者の希望にそった出前や外食を取り入れ、食事が楽しみなものとなるよう工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のカロリー、栄養バランス、水分量を把握し、習慣に応じて支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後のうがい、歯磨きを行い必要に応じて訪問歯科の往診を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツの使用はなるべく避け、プライドを保ったトイレでの排泄自立を行えるよう支援している	職員は利用者の生活リズムや排泄パターンを把握したうえでトイレ誘導し、排泄の自立に向けた支援をしている。 利用者自ら記入する排泄チェック表をトイレの入り口に置き、利用者の自覚や記憶を残す工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食事のヨーグルト及び散歩等による運動など取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴しており入浴時間の制限などはない	利用者の希望にそって毎日好きな時間に入浴ができるように支援している。身体の不調などで入浴ができない場合は清拭などで対応し、個々に応じた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムをつくり安眠につなげている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解し、服薬支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜づくり、カラオケ、散歩など本人のしたいことを支援している。窓拭き、掃き掃除、洗濯物など役割分担で行っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年2回の一泊旅行や外食、買い物など行きたい所に行ける支援を行っている	管理者や職員は利用者の希望を取り入れ散歩や買い物などに出かけられるよう、日常的に外出支援をしている。利用者の定員が6名で少人数の利点を活かし、ワンボックスカーを使用して年2回利用者全員で温泉などの一泊旅行に出かけ、日常とは違った楽しみを味わえるよう工夫している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お店、屋台、自動販売機など本人による買い物を支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室にコードレス電話を持っていき家族とゆっくり話ができるようにしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	普通の家のように過ごせるように配慮している	居間兼食堂からウッドデッキへ自由に出られるようになっている。テレビの前にソファを置き利用者同士で会話を楽しんだり、カラオケをしながらゆっくり寛ぐことができるように支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキがあるベランダには自由に出られるよう配慮している			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら配慮している	利用者が入居前に使用していた整理箆や椅子、テレビなど馴染みの物品を持ち込んでもらい、利用者が居心地良く暮らせるように支援をしている。 居室は畳の和室とフローリングの洋室があり、利用者の身体機能状況に合わせて選択している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体機能を活かし、その人に寄り添い失敗を恐れず安心して暮らせるよう支援している			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホームめぐる

作成日 平成24年8月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		避難訓練時の反省点や課題を記録に残していない	課題や反省点を記録に残し次回の訓練に活かす	次回の避難訓練時よりきちんと記録に残す	随時
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。